

令和5年度の欠席状況（2学期始め）について

1 調査について、

(1) 期間

1学期始業式から2学期開始後1週間まで

(2) 目的

欠席が続いている児童・生徒を把握し、早期に対応を図るため

(3) 調査基準

調査日	5月連休明け1週間後	2学期開始1週間後	3学期開始1週間後
欠席した日数	5日以上	10日以上	20日以上

2 結果

(1) 小学校

	在籍数	合計10日以上欠席した人数	不登校として対応
R4	9222人	741人(8.0%)	111人(1.2%)
R5	9256人	587人(6.3%)	131人(1.4%)

(2) 中学校

	在籍数	合計10日以上欠席した人数	不登校として対応
R4	2726人	317人(11.7%)	123人(4.5%)
R5	2807人	232人(8.3%)	170人(6.1%)

(3) 特徴

- ①新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」となったことで、感染不安を理由とした欠席は減少している。
- ②小学校・中学校とも、10日以上欠席した人数は減少しているが、不登校傾向で欠席している人数は増加している。

3 今後の対応

(1) 不登校の未然防止

- ①1学期に実施したi-check(心理検査)の結果等を活用し、自己肯定感や学級適応感の低い児童・生徒について、一人一人に寄り添った声掛けや支援、安心して学べる学級づくりができるよう指導・助言をする。
- ②児童・生徒の自己有用感を高めるために、一人一人に合わせた対応を行ったり、誰にとっても分かりやすく楽しい授業を展開したりできるよう、学校訪問等を通して指導・助言をする。

(2) 不登校の初期対応

- ①「不登校対策取組連携推進【デジタル版】」等を活用し、学校だけでなく関係機関と連携した組織的な対応について指導・助言をする。
- ②教育センターと学校とが情報共有を行い、今後の対応や役割分担について検討し、実施する。